

小さい秋見つけた？

先日、山道を車で通っていると、栗がたくさん落ちていました。「いが」を踏まないように気をつけて通り過ぎました。ふと見上げると、空の青さが夏のまぶしいような青とは違うし、雲も夏のもくもくした入道雲とは違い、秋の鰯雲が広がっていました。そういえば風もずいぶんさわやかだなあ・・・と、秋の気配を感じました。



秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞ驚かれぬる（藤原敏行）

日本は四季ではなく「（夏と冬の）二季」になったとも言われますが、季節は巡り、今年も秋はやってきたようです。

風、空、雲、花、虫の声・・・みなさんも、周りのものから小さい秋を見つけてみませんか？

よく見る・よく聞く・よく話す



日光東照宮を知っていますか？ そこにある彫刻「三猿」がとっても有名です。

「三猿」とは 目をふさいだ猿「見ざる」、
口をふさいだ猿「言わざる」、
耳をふさいだ猿「聞かざる」の
三匹の猿です。「～ざる」は「～しない」という意味と、「猿」をかけてあるわけです。その意味は「悪いことを見ない・言わない・聞かない」ということで、悪いことにかかわらず正しく生きることを説いていると言われています。

この三猿は、実際に日光東照宮で見たことがあるのですが、最近興味深いことを知りました。

埼玉県秩父神社というところに、もう一つの「三猿」の彫刻があるそうです。こちらは「よく見て・よく聞いて・よく話す」ことを表す、

目を大きく見開いた猿、
大きな耳を立てている猿、
大きく口を開けている猿で、「お元気三猿」と呼ばれているとのことです。

三匹の猿という共通のモチーフで逆のことを象徴しているところがおもしろいですね。いえ、逆というよりは「どちらも大切」ということかな？と思いました。

私たちの周りは、常にいろいろな情報でいっぱいです。自分が望めば、ほしい情報は簡単に得ることができるし、新たな情報に触れて自分の世界が広がるということもあるでしょう。しかし、ちょっと立ち止まって考えてみてください。そんなあふれる情報に、ふりまわされているように感じることはないでしょうか？ インターネットやSNSで飛び交う情報、人のうわさ話などによって、つらい思いをしている人がいるのではないのでしょうか？ あるいは、誰かが傷つくような情報を、自分は発信していないのでしょうか？ AIの発達により、意図的にその情報を流すこともでき、それで誰かの人生をえてしまうこともあります。そういうことに気がついていないでしょうか？

そういう社会だからこそ、一つの情報に触れたとき、それをうのみにするのではなく、しっかり見ることが大切です。そして他の人の意見に耳を傾けること、そのうえで自分の考えや意思をもち、それを人に伝えることが必要なのではないでしょうか。

二種類の「三猿」は現代の私たちに、とても大切なメッセージを発しているように感じられます。